



佛事の常識・非常識



Q:お盆の準備はどうしたらいいのですか。A:盆灯籠とお団子がお盆の風物詩ですね
 さあ、いよいよ夏真っ盛りを迎えました。8月にはお盆を迎えます。もともとお盆の由来は、盂蘭盆経というお経に基づきます。盂蘭盆とは「倒懸」と訳され、逆さまに吊るされる苦しみのことです。お釈迦様のお弟子・目蓮さんが得意の神通力で亡き母を尋ねると、餓鬼道に堕ちて餓えて苦しむ亡き母をたすけるエピソードからきています。お母さんは生前、我が子目蓮のみを盲目的に可愛がり、他の子供を大事にしなかったため餓鬼道に堕ちたと言われていました。困った目蓮がお釈迦さまに相談し、夏の修行の最後の日に修行僧たちに様々なおいしい食べ物をお供えするよう勧められました。その通りにすると、修行僧たちが喜び、その喜びが目蓮のお母さんを救い喜びが二重になりました。この喜びの表現が盆踊りになったとも言われています。ご先祖のみならず、生きとし生けるものとのつながりの回復がお盆のテーマです。お盆の準備は地域によって異なりますが、讃岐では、ご先祖が帰ってくる道しるべとしてお盆の灯籠を飾り、あんこやきなこの団子を作ってお供えしています。

寺ともさん・こぼれ話 今回の寺ともサービス「絵本の読み聞かせ」は、高松大学の和田ゼミの学生さんに来て頂きました。実は和田先生徳成寺の門徒さんであり、寺ともさんです。そういうご縁もあり、お願いしてみたところ、快く引き受けて下さいました。それを知ったのは、NHK高松の「ゆうどき香川ニュース」はじめローカルニュースなどで「読み聞かせ隊」が取り上げられているのを見たからでした。彼らの「読み聞かせ」を聞いてみると、絵本の世界に飛び込んだような気がするから不思議です。いい年をしたおじさんの私でも、なんだかワクワクしてくるのを感じました。これは楽しそうだけひ来てもらおうと思いついたのでした。とすると、もしかしてこのように私が知らないだけで、門徒さんや寺ともさんの中には、素敵なお宝がまだまだ無限に眠っているんじゃないかと思うのです。そんな足元に転がっていて気がつかないお宝をザクザク掘り起こす意味が寺ともサービスにはあると思います。ご本人も気づいてないようなお宝をこれからどんどん掘り起こしますよ〜♪

名前：チャビ
 性別：♀
 お年：15歳
 種類：シーズー
 好物：うどん
 苦手：小さい子供
 住所：寿賀さん宅(高松市)
 性格：おとなしい

ご自慢のペットちゃん



ペットちゃんを募集しています

エピソード：チャビちゃんは、一度行方不明になったことがあります。ホームセンターのお店の中をウロウロして一晩泊っちゃったようです。そこを運よく警察官に保護されました。警察官はペットショップにチャビちゃんを届けてくれました。そこを通じて飼い主さんの寿賀さんに連絡があったそうです。本当に危なかったですね。年を取ってきたので、だんだんあちこち悪くなり、病院と仲良くお付き合いしているとか。人間もおんなじですね☆

RSK山陽放送イブニングDONDON「きまいこられい」



6/25午後3時54分放送

丸1年ぶりにRSK山陽放送のイブニングDONDON「きまいこられい」で寺ともサービスのお知らせをさせて頂きました。いつもはスタジオの外で撮影するのですが、この日は参院選に配慮して、スタジオの中での撮影でしたよ。

おまけ
 かわいい子供達から、たくさんのお祝いメールをもらいました。
 これで暑い夏も乗り切れますね。
 @:かわら版不要の方は恐れ入りますが087-821-6348へご連絡を。